

## 【対話形式の問題】（難易度：中）

下の文は世界史の授業で「内陸・東アジア世界の展開」を説明している様子を抜粋してまとめたものです。あなた自身がこの授業を受けている生徒だと思って、文中の□に適する語句を考えて漢字で答え、（ ）には適する語句を語群から記号で答えなさい。

先生 「えー、今日からしばらくの間、唐の滅亡以降、モンゴル帝国（大モンゴル国）がユーラシア大陸の大半を統合する13～14世紀までの内陸・東アジア世界を学んでいこうと思います。まず、手始めに唐の滅亡は何世紀初めでしたか。」

生徒A 「（ 1 ）世紀初めです。」

先生 「そうですね。朱全忠が唐を滅ぼし、五代十国の分裂時代の頃は、中国周辺の諸地域でも大きな政治的・社会的変動が occurred しました。」

先生 「そして、この頃、唐を中心にした東アジア文化圏の統合がゆるみ、それぞれの地域が独自の特色ある文化を形成していった時期でもあるのです。」

生徒B 「日本でいうとちょうど平安時代ですね。」

先生 「そうそう。いわゆる国風文化が栄えましたよね。たくさんの文学作品が生まれました。例えば、紫式部が平仮名を用いて書いた有名な文学作品は何ですか。」

生徒B 「源氏物語です。」

先生 「正解です。朝鮮半島でも中国の影響を受け、独自の青磁がつくられました。唐の滅亡後、王建が建国した朝鮮の王朝を知っている人はいませんか。」

生徒C 「先生、□ A □です。」

先生 「さすがです。英語で韓国の呼称を Republic of Korea と言いますが、その Korea の語源にもなっていますよね。」

先生 「そして、唐の滅亡後の東アジアの歴史を大きく左右したのは北方民族の動向でした。」

生徒D 「先生、北方民族って何？」

先生 「モンゴル高原とその周辺で遊牧生活をおくる諸民族を総称して北方民族と言うのだけど、いろいろな民族系統があることを忘れてはいけません。モンゴル系・チベット系・ツングース系・トルコ系などの違いがあります。」

先生 「魏晉南北朝時代の混乱の中で華北に諸国を建てた北方の民族を総称して何と呼んでいましたか。覚えてますか。」

生徒D 「匈奴。」

生徒C 「匈奴だけでは秦漢の時代という感じで、違うと思うよ。」

生徒B 「だとしたら、□ B □かな。」

先生 「なんか、みんな主体的に取り組んでいる感じがして良いね。正解は□ B □ですね。さて、本題に戻ってと。唐が滅んだ頃、東モンゴルを中心に耶律阿保機が強力な国家である契丹をつくり、東は日本とさかんに通交していた（ 2 ）を滅ぼし、西はモンゴル高原をおさえました。」

先生 「一方、中国では（1）世紀後半、五代十国の混乱を統一した宋が誕生しました。」

生徒A 「なんだか、ややこしいですね。」

生徒D 「何を言っているのか、全然わかんないけど。ねえ、どうしたらいい。」

先生 「確かに難しいですね。先生でも時々混乱しそうになるからね。でも、もう少し話を進めていきますよ。契丹は宋の成立後も華北に侵入して宋をおびやかし、ついに澶淵の盟を結びました。」

宋が毎年莫大な（ 3 ）と（ 4 ）を契丹に贈るという内容の和議でした。」

生徒C 「なるほど。でもさー、教科書を見ていたら [C] という国名も一緒に書いてあるけど、同じ国なの。」

先生 「いいところに気がつきましたね。実は国名に民族名の契丹を用いる時期と中国風に改めた [C] を用いる時期とがあったのです。今日はややこしくなるので、契丹で統一して授業を進めていきましょう。」

先生 「契丹は宋から入る多額の収入により経済力をつけ国力を増大させ、西のチベット系タングートの国家 [D] を服属させることに成功し、北アジアの最強国となったのです。」

生徒D 「やっぱ、ムズイなあ。国の歴史ってさー、勝ったり、負けたり、強くなったり、滅んだり、おんなじことの繰り返しだね。」

先生 「その通り。歴史は繰り返しの連続です。だからこそ、今の私たちが学ばねばならないことがあると思うのです。今、生きていることの大切さを感じなければいけないと思うのです。」

生徒A 「歴史って、とっても大事だし、面白いですね。」

生徒D 「もういいから、先生、終わろうよ。次、体育だし。」

先生 「あともう少しで終わりにするから、我慢してな。契丹は宋からの贈り物により贅沢が出来るようになって、墮落していきます。当然武力も低下し、権力の内部抗争も激しくなっていました。」

先生 「契丹に服属していた半獵半農のツングース系の [E] が独立して国名を金と称し、宋は新興の金と結んで契丹を攻め、金の攻撃により契丹は滅んでしまったのです。」

生徒B 「地図を見ていると複雑な国際情勢だったことがわかるよね。」

先生 「さて、そろそろまとめをするから、集中して。D君、まだ、机のものを片付けてはいけません。ノートにまとめを書かないとわからなくなってしまうよ。」

先生 「契丹の滅亡後、宋と金は領土をめぐって争い、金は華北に侵入して宋の都（ 5 ）を占領し、上皇と皇帝ら 3,000 人あまりがとらわれ、金に連行されました。宋の滅亡です。この事件の直後、皇帝の弟が江南に逃れ即位し、宋が再建されました。これを南宋と言います。和平派と主戦派との対立の末、和平派が勝利して金との間に和議を結び、淮河を境に北は金、南は南宋という二分の態勢が固まり、南宋はその後およそ 150 年続くのです。」

先生 「次の時間は宋の統治と宋代の社会と経済について説明しましょう。」

生徒D 「覚えることが多過ぎて、大変。だから、歴史って好きになれないだな。」

先生 「覚えることだけが歴史だと考えてはいけません。いろいろな国の歴史や文化を覚えるのではなく、学ぶことが大事なのです。学ぶことが現代世界の多様性を認めることにつながると思うのです。先生も頑張るから、君たちも頑張ってついてきて下さいね。終わります。」

### 語群

あ 陶磁器	い 銀	う 茶	え 絹	お 9
か 10	き 11	く 高句麗	け 渤海	こ 大越国
さ 臨安	し 燕京	す 開封		

# 解答

A	B	C
高麗	五胡	遼
D	E	1
西夏 (大夏)	女真 (女直)	か
2	3	4
け	い (う)	う (い)
5		
す		

各 2 × 10

20 点